

防火・防煙区画

目次

1.防火・防煙区画の作図	2
防火・防煙区画(壁)の作図	
防火・防煙区画(床)の作図	
防火・防煙区画の種類の設定	
耐火構造の設定	
2. IFCファイルから建築情報の読み込み	6
プロパティセットの確認	
プロパティセットの読み込み設定(耐火構造/防火・防煙区画/壁、床の材質)	
IFCファイルから建築情報の読み込み	
3.防火・防煙区画の編集	11
区画種類、高さの変更	
区画範囲の変更	
4.防火区画の貫通処理	14
防火・防煙区画の確認	
防火区画の貫通処理	
防火区画貫通の処理材の設定	
防火区画貫通の設定	
5.防火区画貫通の確認	27
貫通部の確認	
6.拾い集計	30

更新日：2024/9/13 Rebro2024対応

1. 防火・防煙区画の作図

防火・防煙区画を区画種類、高さを指定して作図することができます。作図方法には、座標を指定して区画範囲を作図する方法と、図面内の壁や床を選択して区画範囲を作図する方法があります。

防火・防煙区画(壁)の作図

壁に防火・防煙区画を作図します。

① [建築]タブ-[防火・防煙区画の作図]をクリックします。

② 作図方法を選択します。

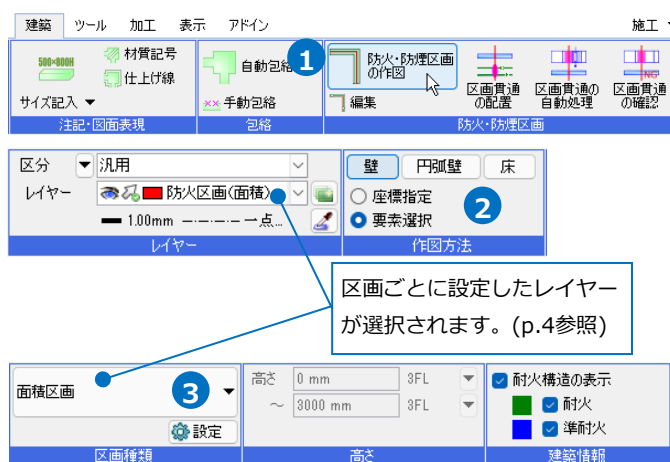
ここでは、「壁」、「要素選択」を選択します。

③ 区画種類を選択します。

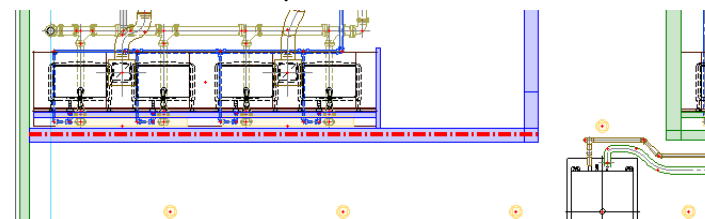
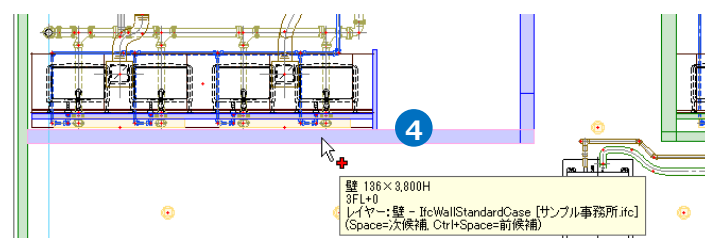
④ 区画を作図したい壁を選択します。

⑤ コンテキストメニューから[確定]をクリックします。

→選択した壁の壁芯に防火・防煙区画が作図されます。

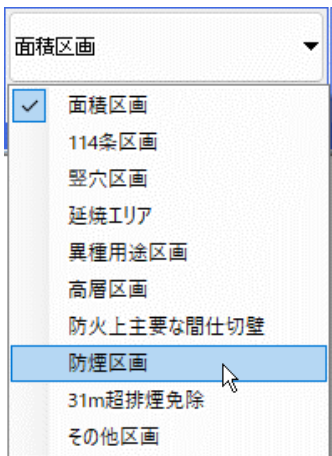


区画ごとに設定したレイヤーが選択されます。(p.4参照)



Memo

[区画種類]は防火区画だけでなく、防煙区画も選択できます。



防火・防煙区画(床)の作図

床に防火・防煙区画を作図します。

- 1 [建築]タブ-[防火・防煙区画の作図]をクリックします。

- 2 作図方法を選択します。
ここでは、[床]、「座標指定」を選択します。

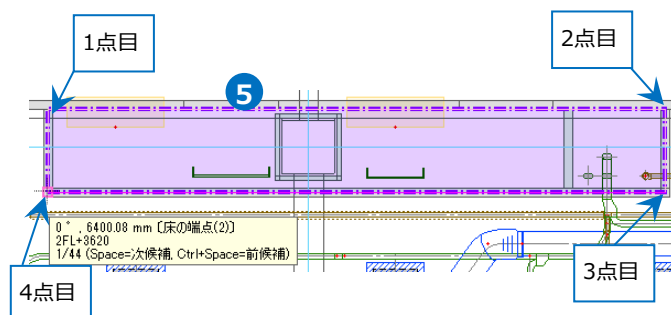
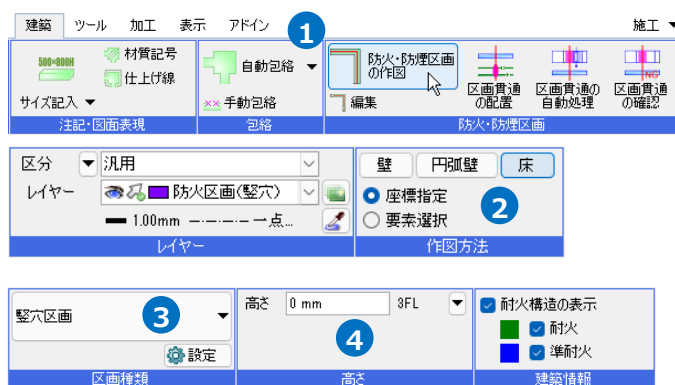
- 3 区画種類を選択します。

- 4 区画の高さを入力します。

- 5 区画の頂点位置をクリックして指定します。

- 6 コンテキストメニューから[確定]をクリックします。

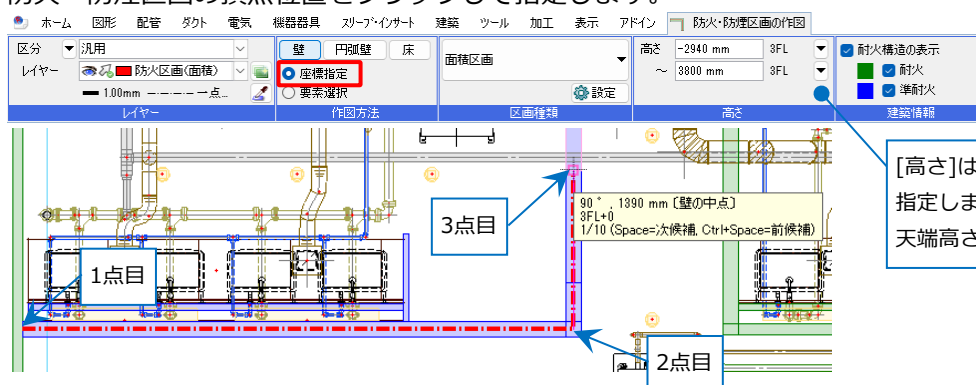
→防火・防煙区画が作図されます。



● 補足説明

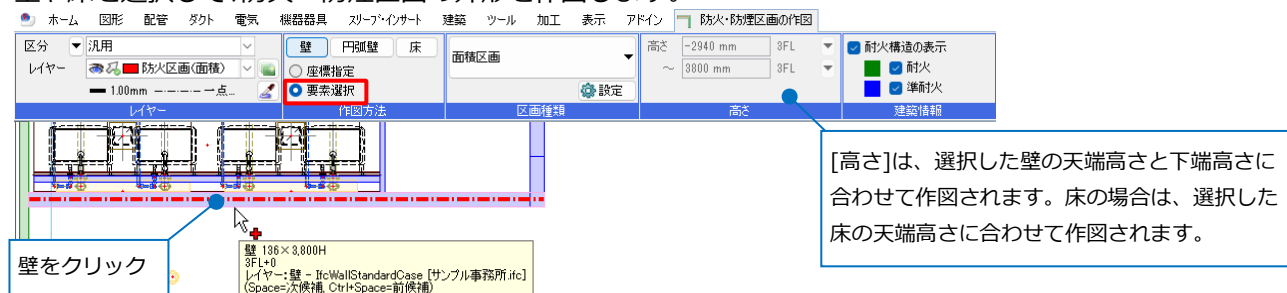
「座標指定」で作図

防火・防煙区画の頂点位置をクリックして指定します。

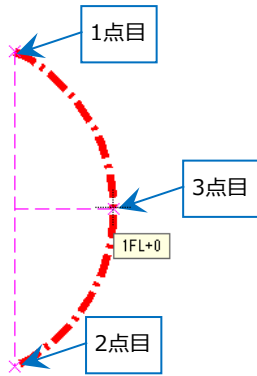


「要素選択」で作図

壁や床を選択して、防火・防煙区画の外形を作図します。



円弧壁で「座標指定」にした場合は、両端を座標指定した後、円弧壁のずれ幅を指定します。

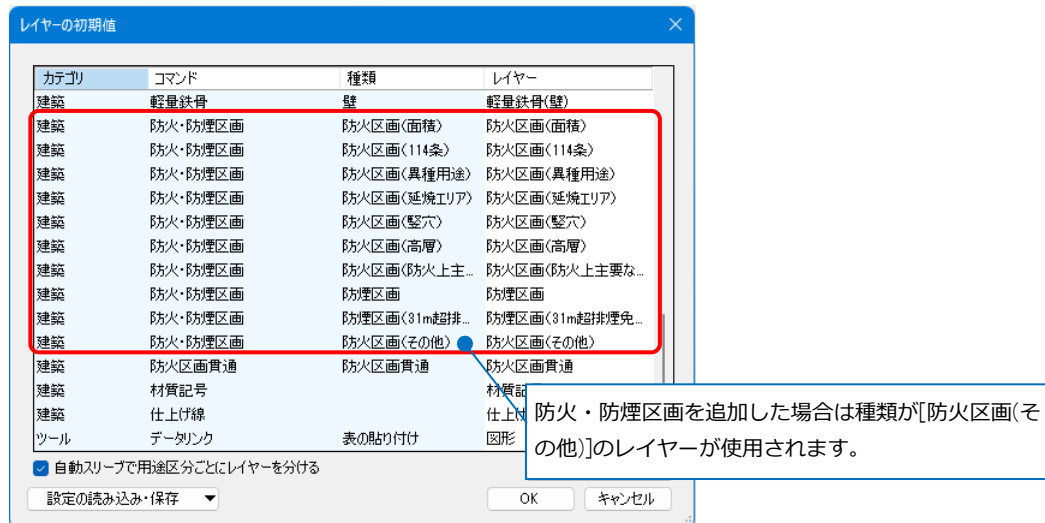


防火・防煙区画の種類の設定

[設定]-[一般]タブ-[建築]-[防火・防煙区画の種類]で区画の種類を追加や編集ができます。

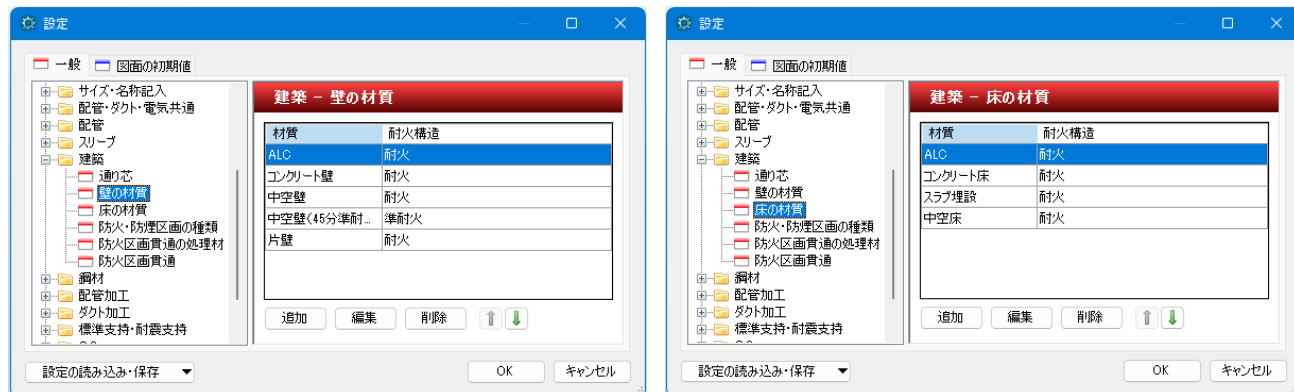


防火・防煙区画を作図するときのレイヤーの初期値は[表示]タブ-[レイヤー初期値]で設定できます。設定を行うと防火・防煙区画の作図時に区画種類を選択するとレイヤーが自動で変わります。作図時に変更することも可能です。



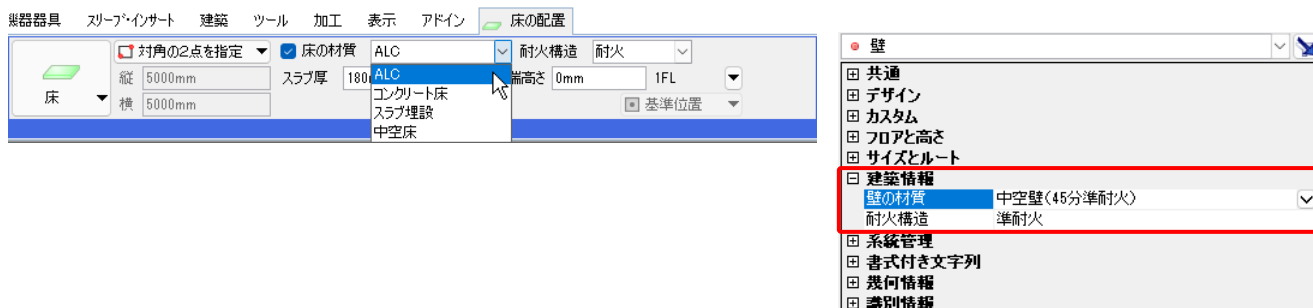
耐火構造の設定

[設定]-[一般]タブ-[建築]-[壁の材質][床の材質]で壁や床の材質や耐火構造の追加や編集ができます。



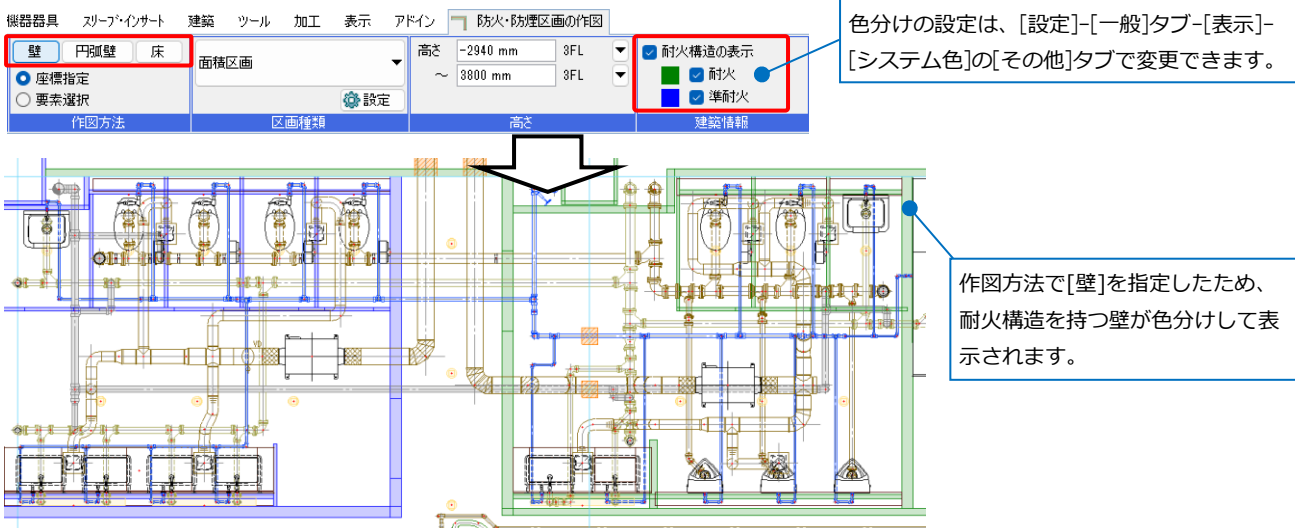
壁や床の作図時に材質を選択すると、[耐火構造]が設定に合わせて変わります。

[耐火構造]だけ設定することもできます。作図後は[プロパティ]-[建築情報]で変更できます。



● 補足説明

[耐火構造の表示]にチェックを入れると、作図方法で指定した要素の耐火構造に合わせて図面上の要素が色分けされます。



2.IFCファイルから建築情報の読み込み

建築CADで躯体の耐火属性、壁や床の材質を入力し、保存したIFCファイルをレブロで読み込むことで図面の壁や床に耐火構造の設定や、防火・防煙区画の自動生成、壁や床の材質を選択できます。プロパティセットを耐火構造や防火・防煙区画の種類、壁や床の材質ごとに割り当てます。

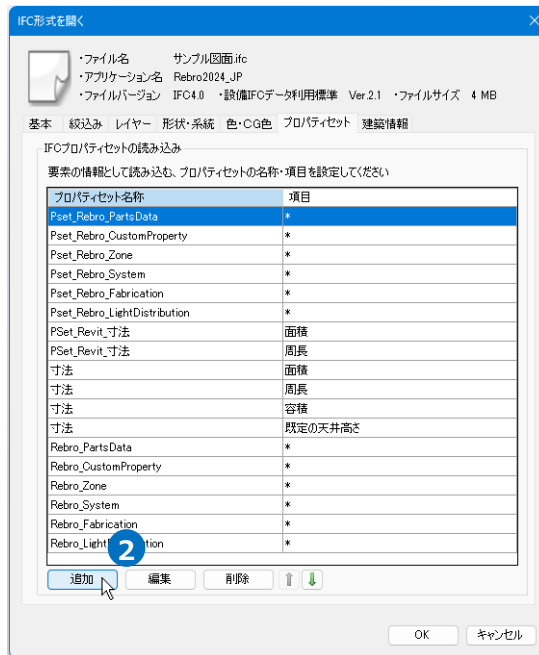
プロパティセットの確認

IFCファイルを開き、IFC情報からプロパティセット名を確認します。

1 [ホーム]タブ-[開く]でIFC図面を選択して図面を開きます。

2 [IFC形式を開く]ダイアログで[プロパティセット]タブを開き、[追加]をクリックします。

3 [IFCプロパティセット]ダイアログで[名称][項目]に「*」を設定し[OK]で閉じます。



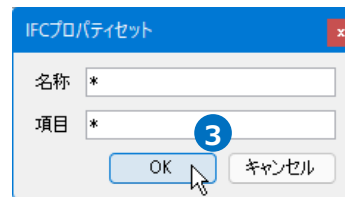
Memo

[プロパティセット]タブでは、要素の情報として読み込むプロパティセットの名称や項目を設定しますが、「*」を設定するとすべてのIFC情報が読み込まれます。

[OK]をクリックして、IFC図面を読み込みます。

4 読み込んだIFC図面で壁を選択し[プロパティ]を開きます。

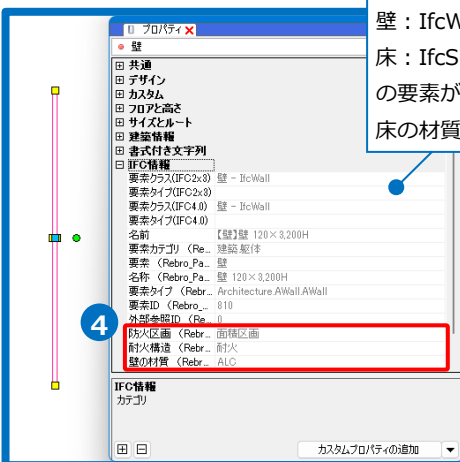
耐火構造や防火・防煙区画、壁や床の材質の分類、項目を確認します。



Memo

「分類」「項目」「値」(は下記の情報を参考に確認します。

項目	分類	値
防火区画 (Rebro_CustomProperty)	面積区画	耐火
耐火構造 (Rebro_CustomProperty)	耐火	耐火
壁の材質 (Rebro_CustomProperty)	耐火	ALC



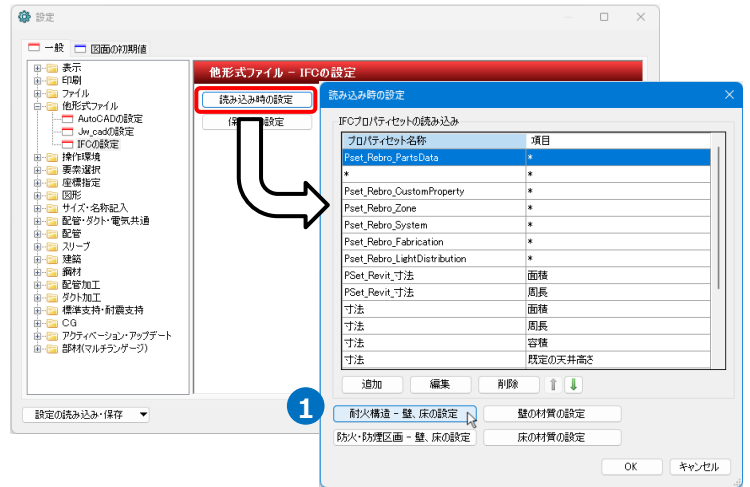
要素クラスが、
壁：IfcWallStandardCaseまたはIfcWall
床：IfcSlab
の要素が耐火構造や防火・防煙区画、壁や床の材質の読み込みの対象となります。

プロパティセットの読み込み設定(耐火構造/防火・防煙区画/壁、床の材質)

耐火構造の設定

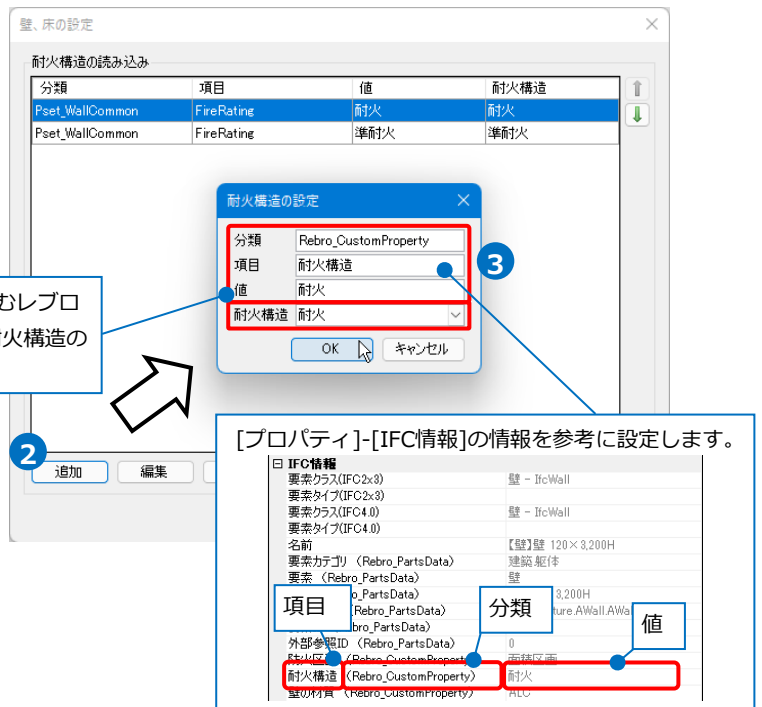
- 1 [設定]-[一般]タブの[他形式ファイル]-[IFCの設定]から[読み込み時の設定]を開きます。

耐火構造を読み込む設定を追加します。
[耐火構造-壁、床の設定]を選択します。

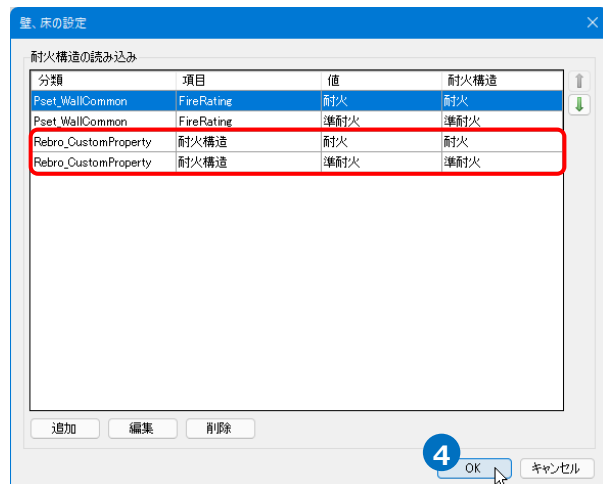


- 2 [追加]をクリックします。
- 3 [耐火構造の設定]ダイアログが開きます。プロパティで確認した情報を基に、「分類」「項目」「値」「耐火構造」を設定し[OK]をクリックします。

IFCファイルから読み込むレプロの壁、床に設定したい耐火構造の値を選択します。

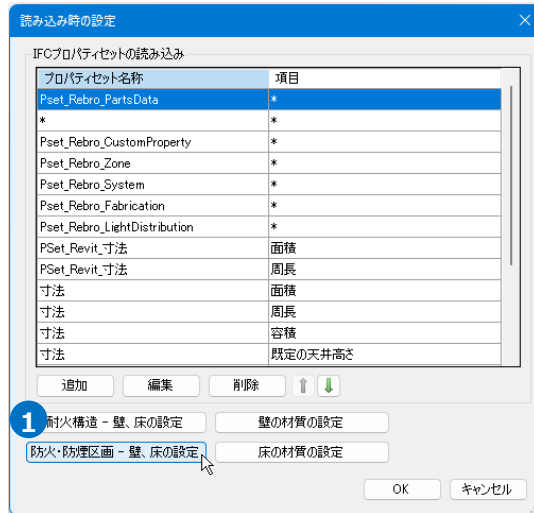


- 4 耐火構造をすべて追加したら、[壁、床の設定]ダイアログを[OK]で閉じます。



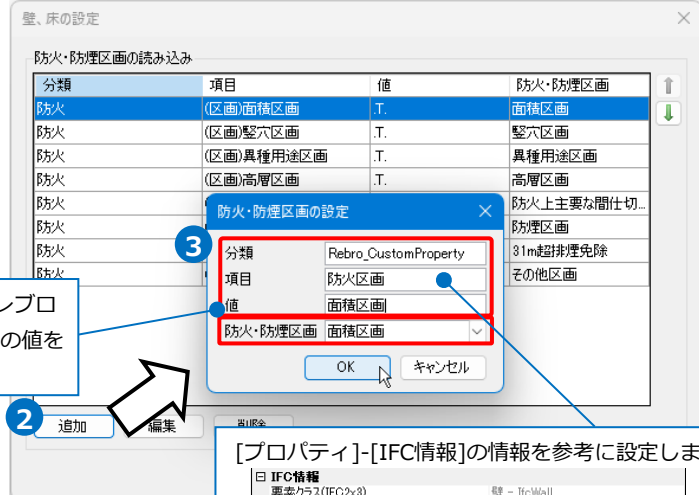
防火・防煙区画の設定

- 1 防火・防煙区画を読み込む設定を追加します。
[防火・防煙区画-壁、床の設定]を選択します。

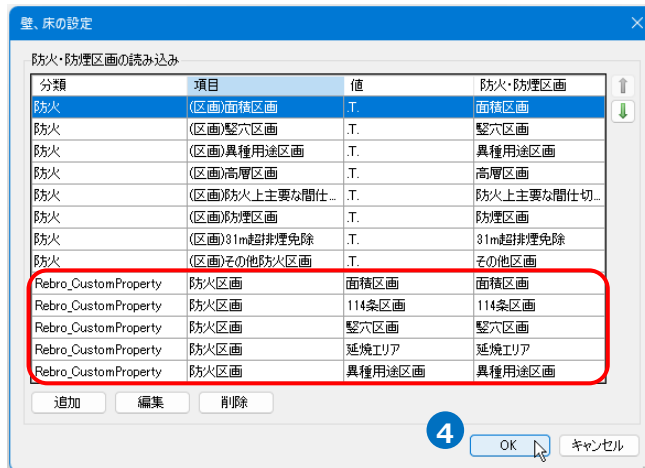


- 2 [追加]をクリックします。
- 3 [防火・防煙区画の設定]ダイアログが開きます。プロパティで確認した情報を基に、「分類」「項目」「値」「防火・防煙区画」を設定し[OK]をクリックします。

IFCファイルから読み込むレプロの壁、床に設定したい区画の値を選択します。



- 4 防火・防煙区画をすべて追加したら、[壁、床の設定]ダイアログを[OK]で閉じます。



壁、床の材質の設定

- 1 壁、床の材質を読み込む設定を追加します。

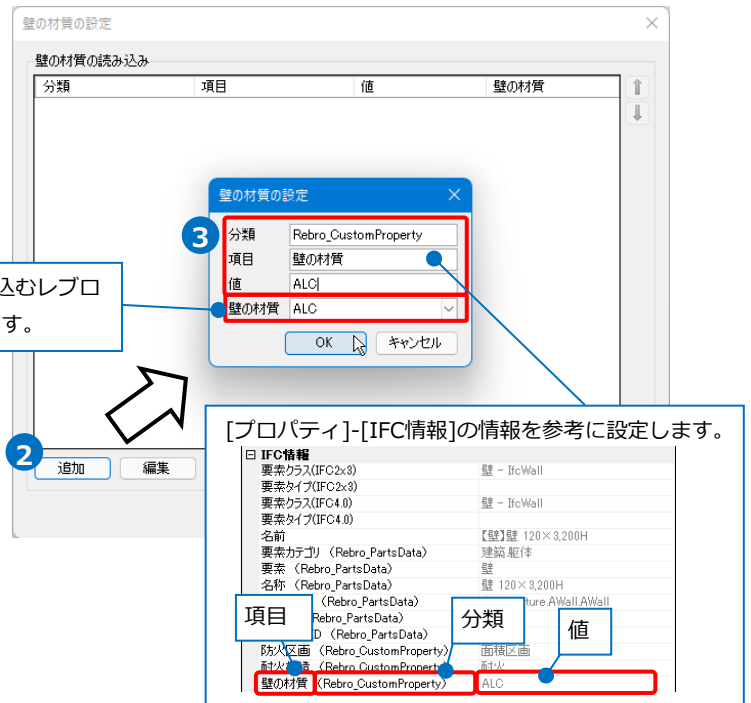
[壁の材質の設定]を選択します。



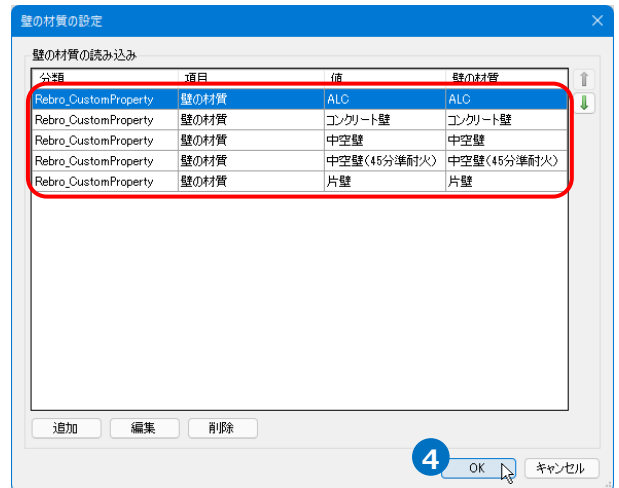
- 2 [追加]をクリックします。

- 3 [壁の材質の設定]ダイアログが開きます。プロパティで確認した情報を基に、「分類」「項目」「値」「壁の材質」を設定し[OK]をクリックします。

IFCファイルから読み込むレブロの壁の材質を選択します。



- 4 壁の材質をすべて追加したら、[壁の材質の設定]ダイアログを[OK]で閉じます。



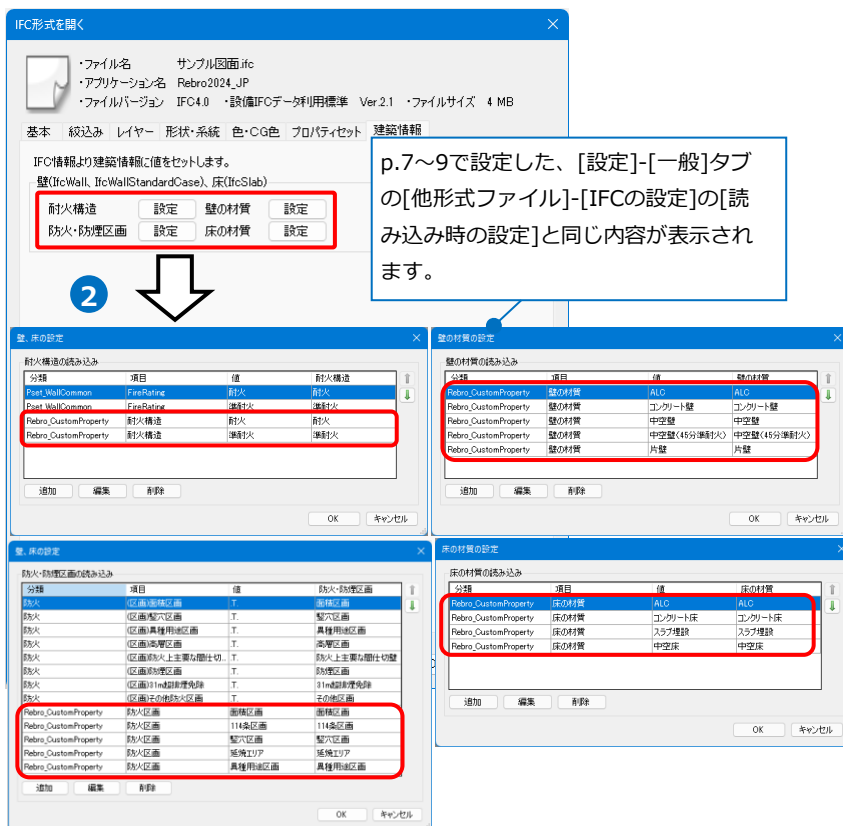
IFCファイルから建築情報の読み込み

プロパティセットの確認(p.6参照)で開いている図面に対して耐火構造や防火・防煙区画、壁や床の材質の読み込みをする場合は、再度ファイルを開き直します。

- 1 [ホーム]タブ-[開く]でIFC図面を選択して開きます。

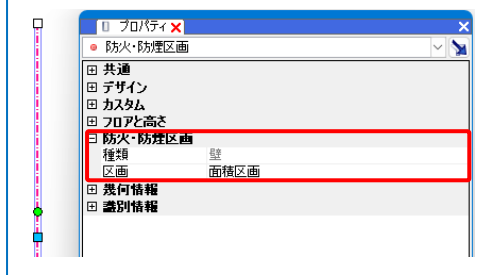
- 2 [IFC形式を開く]ダイアログの[建築情報]タブで耐火構造と防火・防煙区画、壁や床の材質の読み込み情報を確認します。必要であれば、[追加]、[編集]、[削除]で編集します。

[OK]をクリックして読み込みます。



- 3 設定した内容と一致したプロパティセットを持つ壁・床を読み込むと、壁・床要素に対して耐火構造、壁や床の材質が設定され、選択した区画名で防火・防煙区画要素が自動で作成されます。

壁や床に指定した区画種類の防火・防煙区画要素が作成されています。



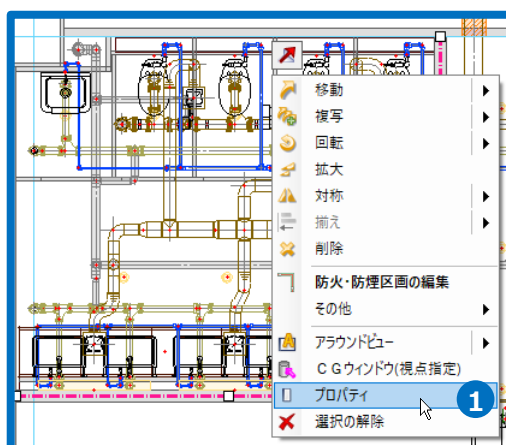
3.防火・防煙区画の編集

作図した防火・防煙区画を編集します。

区画種類、高さの変更

防火・防煙区画の区画種類や高さをプロパティで変更することができます。

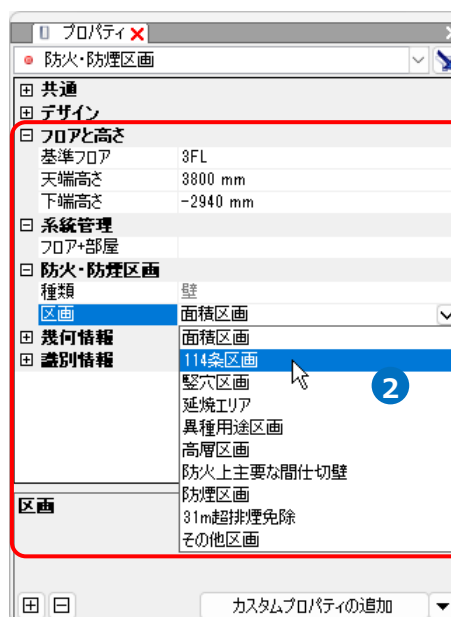
- 1 防火・防煙区画を選択し、コンテキストメニューから[プロパティ]をクリックします。



- 2 プロパティで区画種類、高さなどを変更します。

Memo

区画のレイヤーは作図時の状態が保持されます。
[防火・防煙区画]-[区画]の変更にレイヤーは連動していないため、必要に応じてプロパティからレイヤーも変更します。

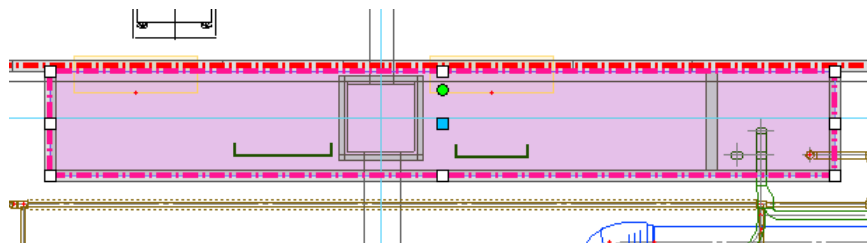


区画範囲の変更

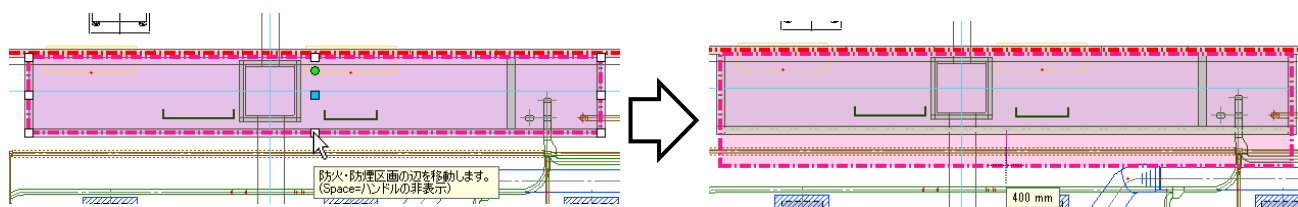
ハンドルで編集

ハンドルで、辺や頂点の位置を変更できます。

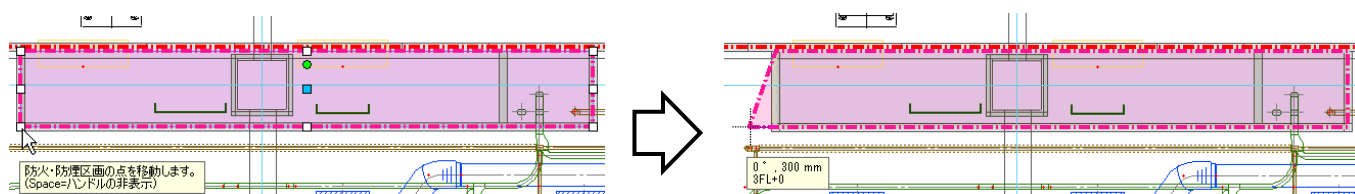
- 1 編集する防火・防煙区画を選択します。
→区画の頂点と辺上にハンドルが表示されます。



- 2 辺上のハンドルをクリックすると、辺を移動して範囲を変更します。

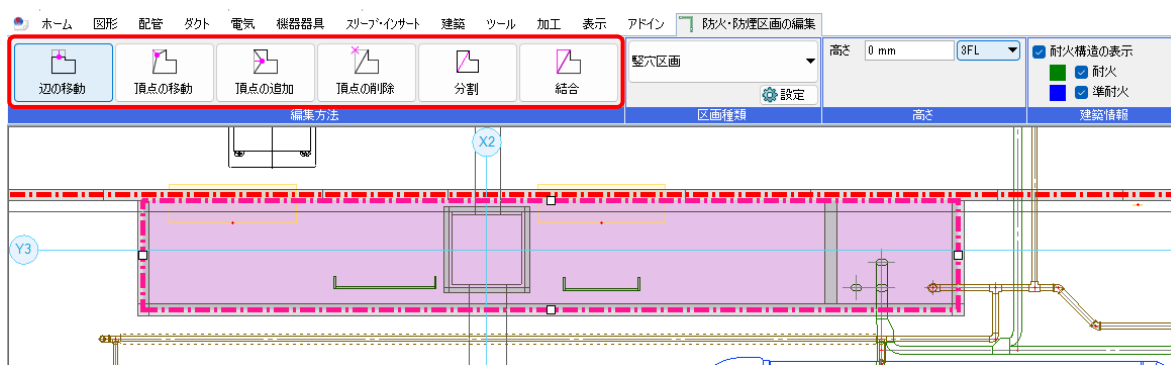
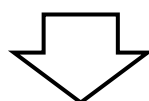
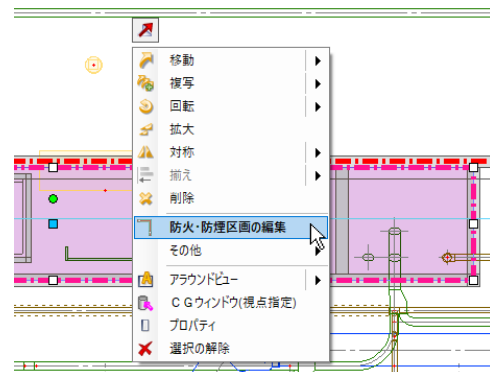
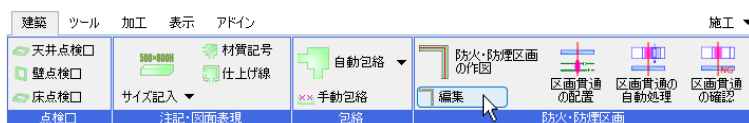


頂点のハンドルをクリックすると、点を移動して範囲を変更します。



[防火・防煙区画の編集]コマンドで編集

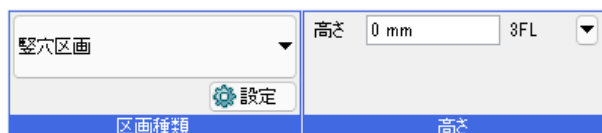
[建築]タブ-[編集]もしくは、編集する防火・防煙区画を選択し、コンテキストメニューから[防火・防煙区画の編集]をクリックすると、編集方法を選択することができます。



辺の移動	移動する辺を選択し、辺を移動します。
頂点の移動	頂点のハンドルを選択、または矩形範囲で指定し、位置を指定します。指定した位置に頂点を移動します。
頂点の追加	頂点を追加する辺のハンドルを選択し、頂点の位置を任意の位置で指定します。
頂点の削除	頂点のハンドルを選択、または矩形範囲で指定します。選択した頂点を削除します。
分割	2点の頂点のハンドルを選択し、区画を分割します。
結合	複数の区画を選択し、結合します。

● 補足説明

防火・防煙区画の編集時に[区画種類]や[高さ]も同時に変更できます。



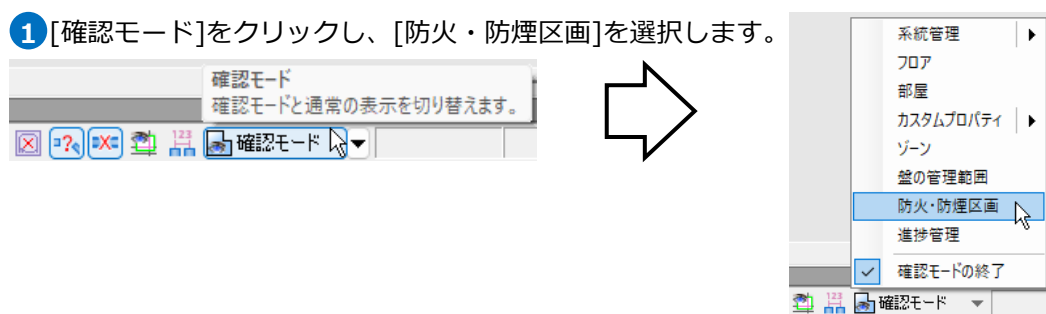
4.防火区画の貫通処理

防火・防煙区画の貫通部に「防火区画貫通」を、処理材を指定して手動で配置したり、処理内容をあらかじめ設定して自動で貫通処理を行うことができます。

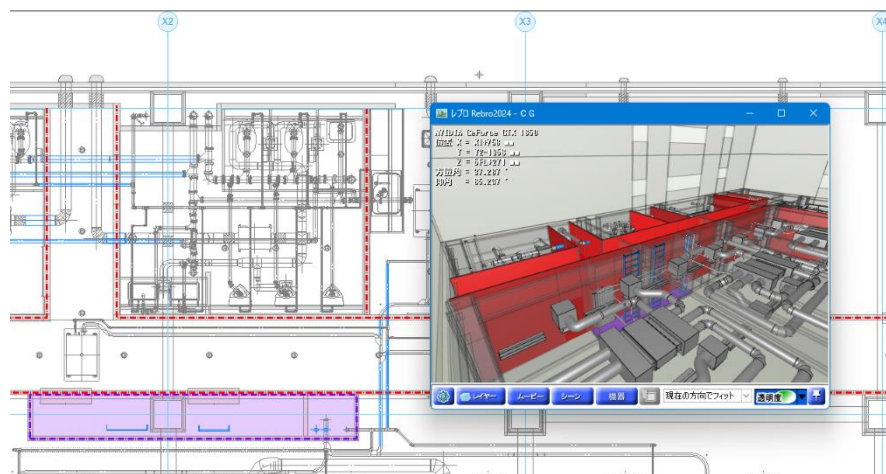
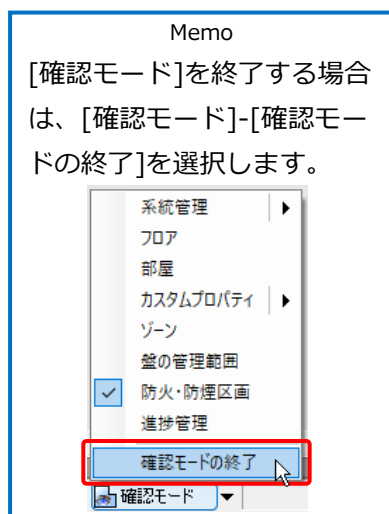
防火・防煙区画の確認

確認モードを使用すると、防火・防煙区画や貫通部のルートなどを色分けして確認することができます。

① [確認モード]をクリックし、[防火・防煙区画]を選択します。

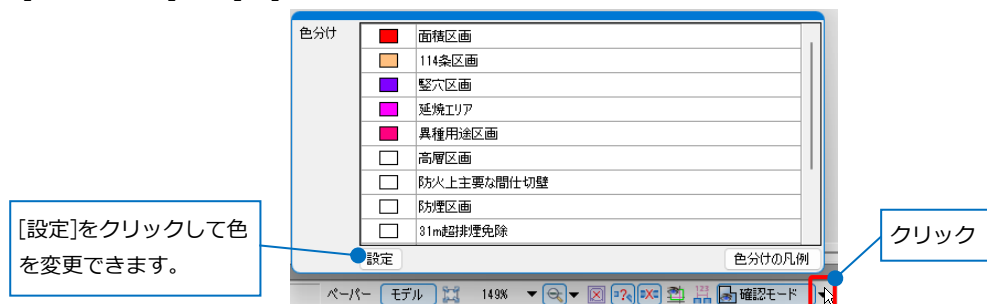


② 貫通部のルート、ダンパー、防火・防煙区画の種類ごとに色分けして図面やCGで確認できます。



● 補足説明

[確認モード]横の[▼]をクリックすると、色分けの確認や変更ができます。



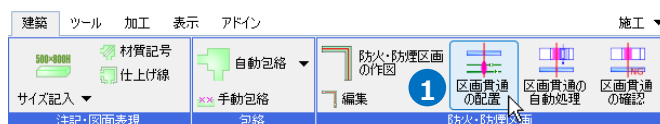
防火区画の貫通処理

区画貫通の配置

防火区画貫通の記号形状とサイズ、処理材を指定し、手動で防火区画貫通を平面図で作図します。
防火・防煙区画が作図されていなくても配置することができます。

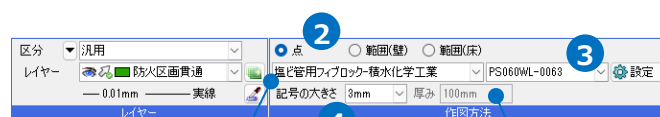


① [建築]タブ-[区画貫通の配置]をクリックします。

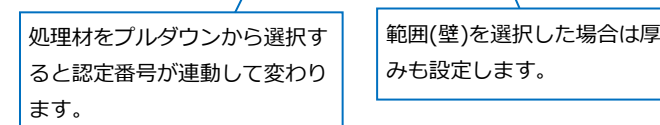


② 記号の形状を選択します。

ここでは「点」を選択します。



③ 防火区画貫通の処理材と認定番号を選択または入力します。(処理材の設定はp.21参照)



④ 記号の大きさを入力します。

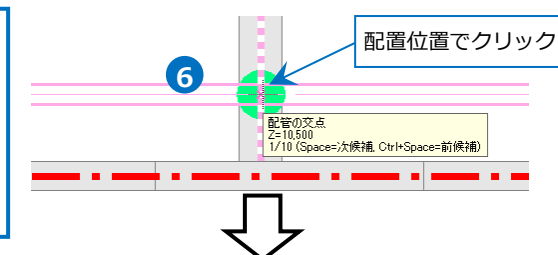
「点」の場合は、直径を用紙サイズで指定します。



⑤ 高さを設定します。

ここでは、[高さ]のチェックを外します。

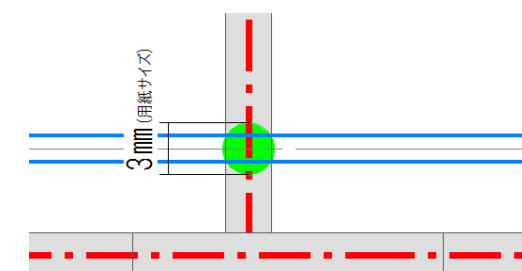
Memo
[高さ]にチェックを入れると、防火区画貫通の配置高さを数値入力することができます。
チェックを外すと、ルートなど指定した要素の高さで配置できます。



⑥ 貫通部材を配置したい位置でクリックします。

⑦ コンテキストメニューから[確定]をクリックします。

→防火区画貫通が配置されます。



- 補足説明

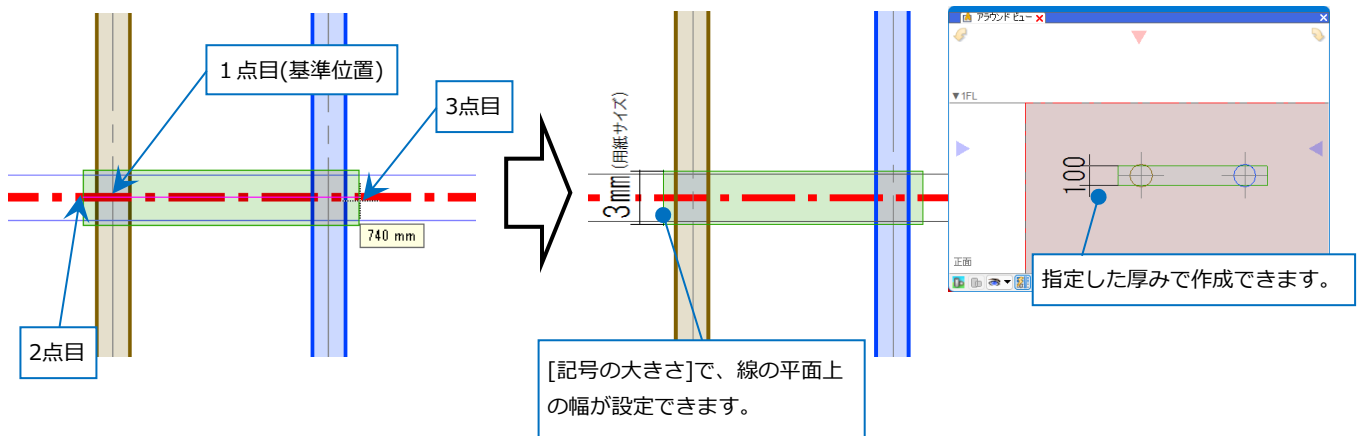
記号の形状によって作図方法が異なります。防火・防煙区画を貫通するルートが1本の時は「点」で、複数の時は「範囲」で作図します。

「範囲(壁)」を選択した場合

[記号の大きさ]と[厚み]を設定します。[記号の大きさ]は用紙サイズで、線の幅になります。[厚み]で、矩形の高さを入力します。



防火区画貫通の1点目で基準位置を指定し、2点目と3点目で両端になる位置を指定します。[高さ]のチェックを外している場合は、1点目で指定した高さが防火区画貫通の高さになるため、ルート上を指定します。

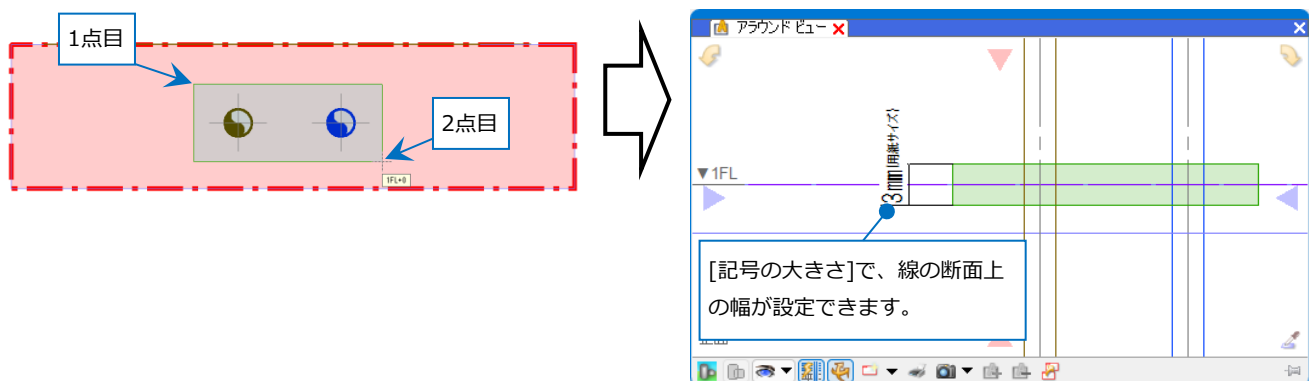


「範囲(床)」を選択した場合

[記号の大きさ]を設定します。[記号の大きさ]は用紙サイズで、矩形の厚みになります。

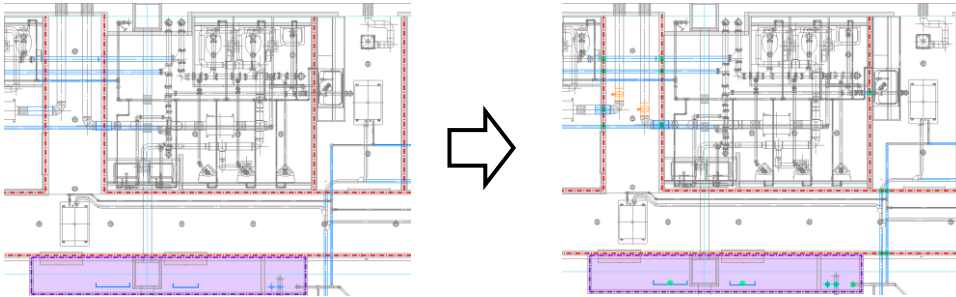


防火区画貫通の頂点を対角2点でクリックします。指定した高さに、記号が作図されます。

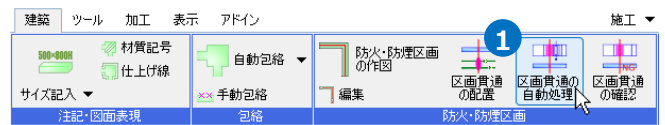


区画貫通の自動処理

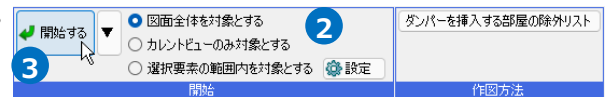
設定した防火区画貫通の処理内容を基に、図面上のルートと防火・防煙区画の貫通部に防火区画貫通を自動で配置します。



- 1 [建築]タブ-[区画貫通の自動処理]をクリックします。



- 2 対象範囲を選択します。
ここでは「図面全体を対象とする」を選択します。



Memo

「図面全体を対象とする」:
図面全体のルートと区画の貫通部に処理をします。

「カレントビューのみ対象とする」:
カレントビュー(現在操作中のビュー)に表示されているルートと区画の貫通部に処理をします。

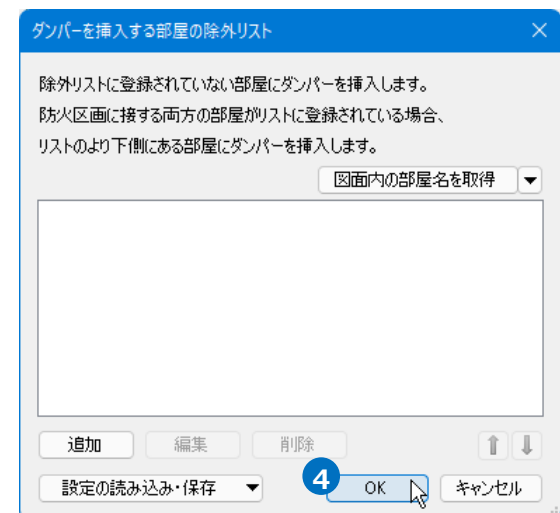
「選択要素の範囲内を対象とする」:
選択した配管・ダクト・電気ルートと区画の貫通部に処理をします。

Memo

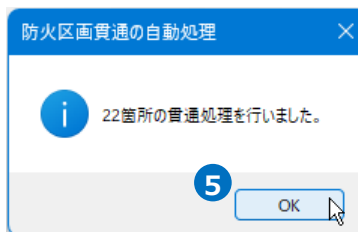
[開始する]横の[▼]をクリックし、[外部参照ファイルを含む]にチェックを入れると、外部参照の防火区画を含めて区画貫通を配置することができます。(ルートが外部参照の場合は配置できません。)

- 3 [開始する]をクリックします。

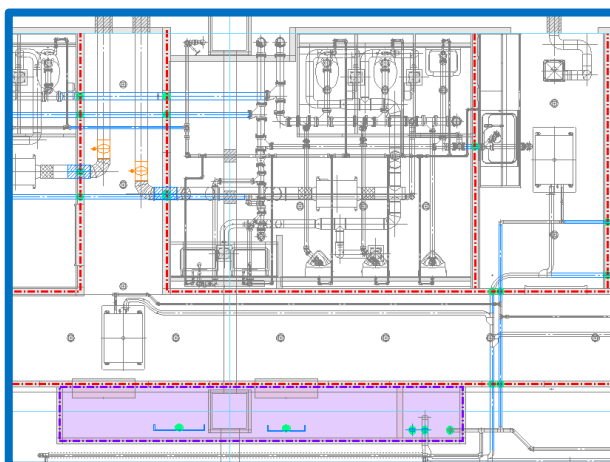
- 4 [ダンパーを挿入する部屋の除外リスト]ダイアログが表示されます。[OK]をクリックします。
([ダンパーを挿入する部屋の除外リスト]についてはp.19補足説明参照)



5 貫通処理が行われ、配置個数が表示されます。
[OK]をクリックします。

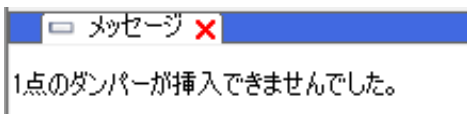


6 貫通部に防火区画貫通が点の記号で挿入され、設定した貫通部の材料やダンパーが挿入されます。



Memo

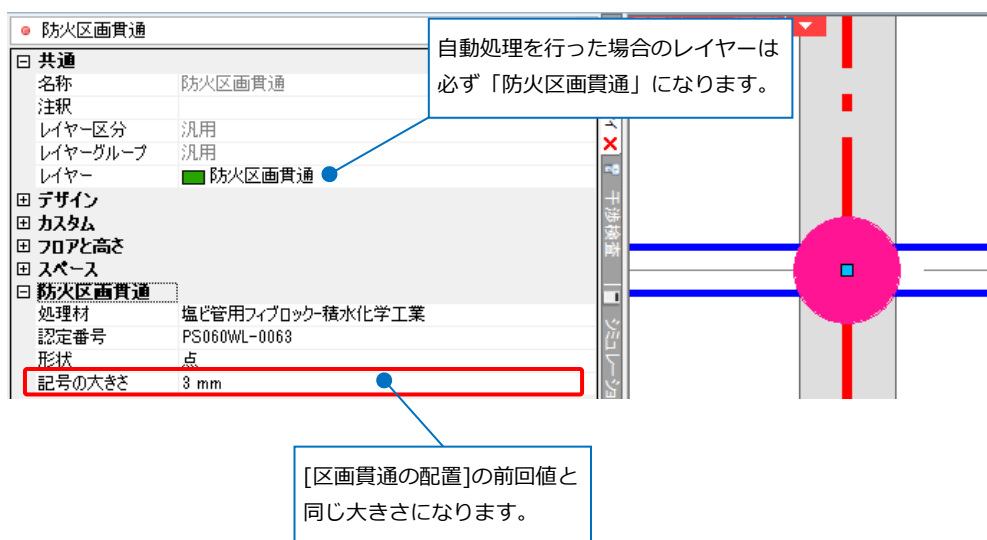
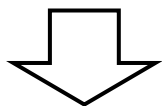
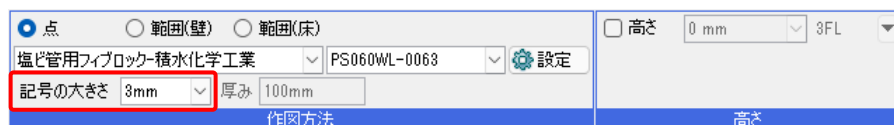
区画貫通部材が挿入できない箇所があった場合はメッセージが表示されます。該当箇所は、[区画貫通の確認]で確認できます。
([区画貫通の確認]についてはp.27参照)



● 補足説明

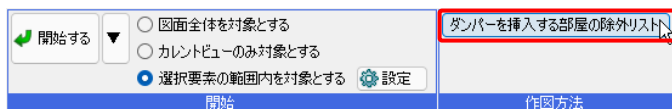
[防火区画貫通の自動処理]で配置されるのは、点の記号のみです。

記号の大きさは、[建築]タブの[区画貫通の配置]で使用した前回値が反映されます。



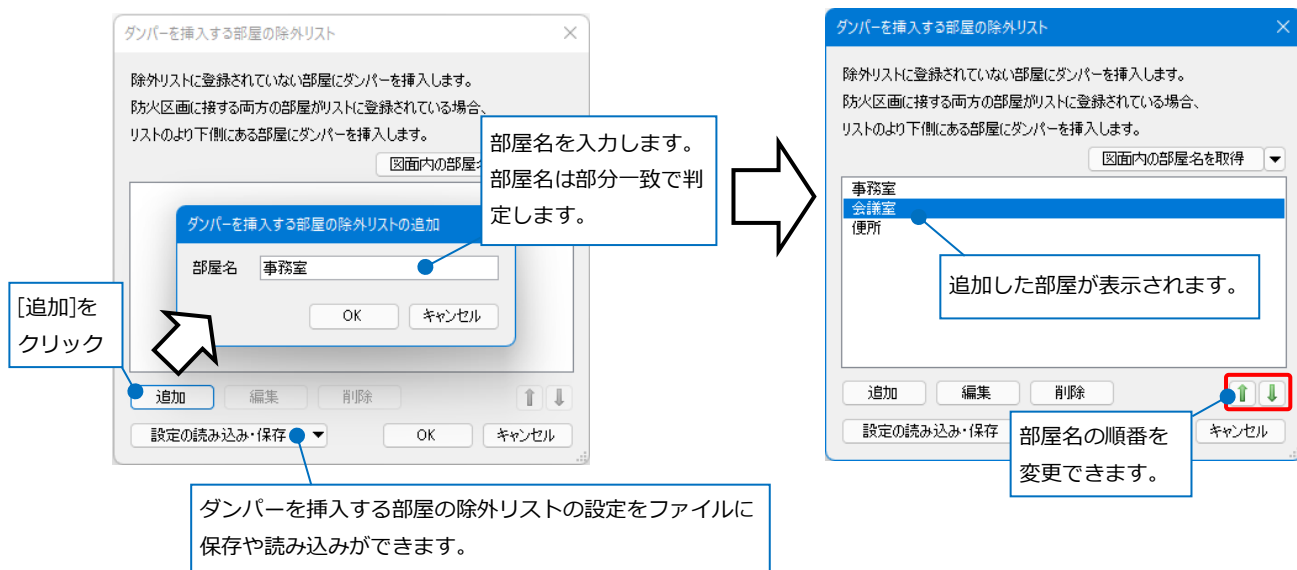
● 補足説明

部屋の設定を行っている場合、[区画貫通の自動処理]を行うとダンパーを挿入する位置をルートが属している部屋情報から自動で判断します。ダンパーを挿入したくない部屋がある場合は[ダンパーを挿入する部屋の除外リスト]の設定を行います。

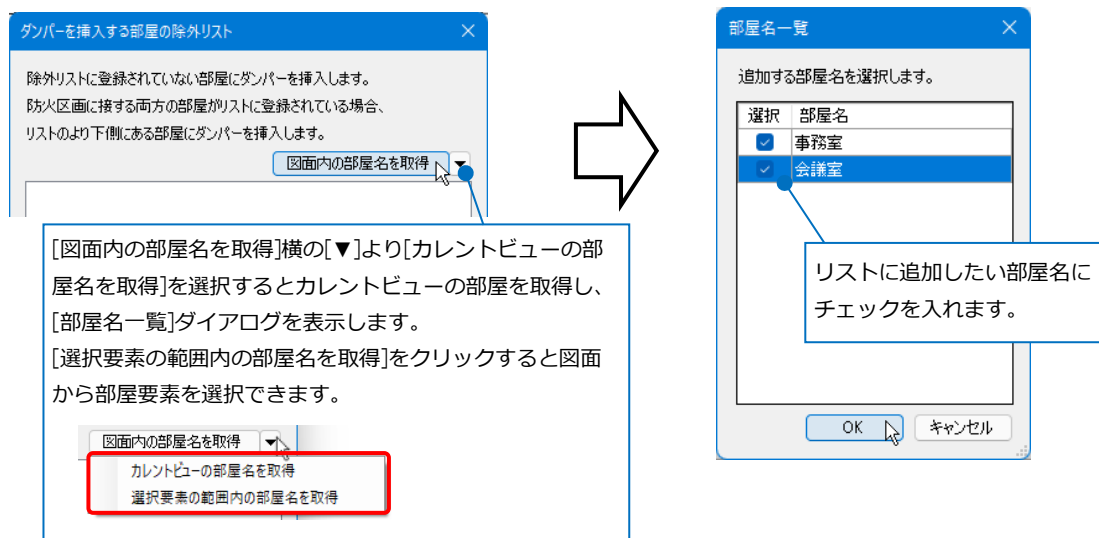


[ダンパーを挿入する部屋の除外リスト]ダイアログで、除外する部屋を追加します。

リストに登録されていない部屋にダンパーを挿入します。両方の部屋名がリストにある場合、リストの下側の部屋にダンパーを挿入します。



[図面内の部屋名を取得]で図面上の部屋から部屋名を取得することもできます。

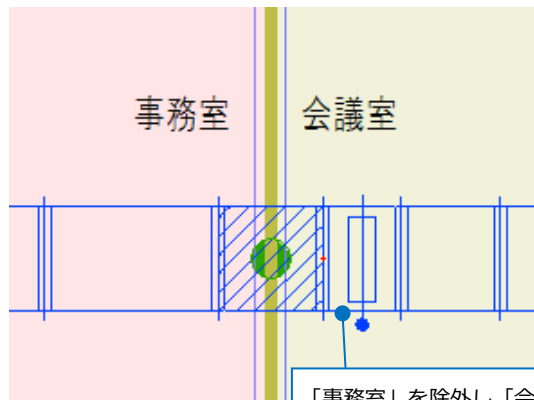
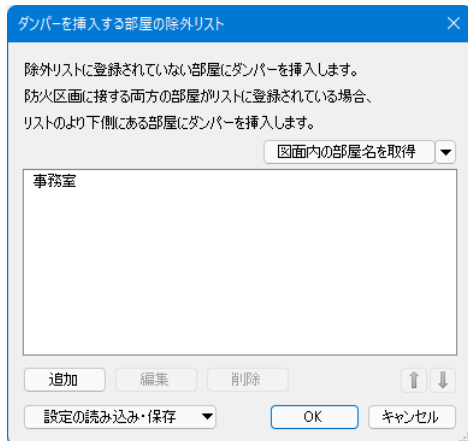


Memo

[ダンパーを挿入する部屋の除外リスト] の設定をしていない場合、ダクトの流れ方向と用途から判断し、ダンパーを挿入します。

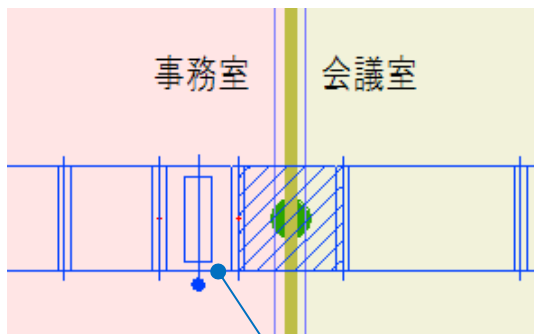
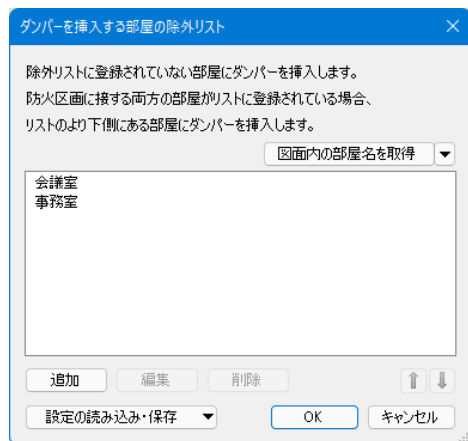
ダンパーの挿入例

- ・除外リストに「事務室」を追加した場合



「事務室」を除外し「会議室」側にダンパーが挿入されます。

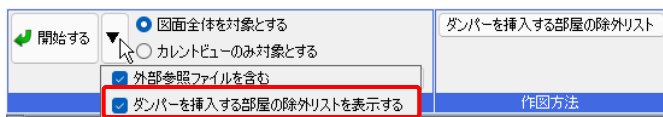
- ・除外リストに「会議室」「事務室」を追加した場合



リストの下側にある「事務室」にダンパーが挿入されます。

Memo

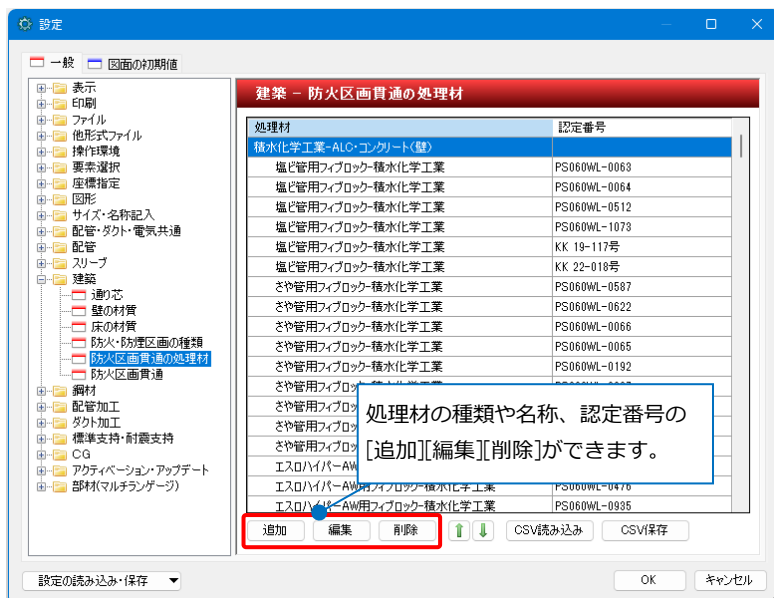
[開始する]横の[▼]をクリックし、[ダンパーを挿入する部屋の除外リスト]を表示するにチェックを入れると、防火区画貫通処理を行う前に[ダンパーを挿入する部屋の除外リスト]ダイアログを表示します。



防火区画貫通の処理材の設定

防火区画貫通の処理材は自由な組み合わせで登録できます。

[設定]-[一般]タブ-[建築]-[防火区画貫通の処理材]で、処理材の種類や名称、認定番号の追加、編集、削除ができます。防火区画貫通に設定した処理材ごとに[拾い集計]で個数を拾うことができます。

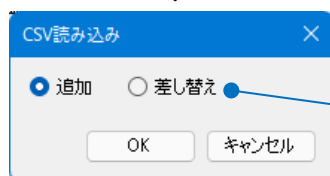


[CSV保存]で防火区画貫通の処理材をCSV形式ファイルに保存できます。



	A	B	C
1	分類	処理材	認定番号
2	種水化学工業-ALC・コンクリート(壁)	塩ビ管用フィブブロック-種水化学工業	PS060WL-0063
3	種水化学工業-ALC・コンクリート(壁)	塩ビ管用フィブブロック-種水化学工業	PS060WL-0064
4	種水化学工業-ALC・コンクリート(壁)	塩ビ管用フィブブロック-種水化学工業	PS060WL-0512
5	種水化学工業-ALC・コンクリート(壁)	塩ビ管用フィブブロック-種水化学工業	PS060WL-1073
6	種水化学工業-ALC・コンクリート(壁)	塩ビ管用フィブブロック-種水化学工業	KK 19-117号
7	種水化学工業-ALC・コンクリート(壁)	塩ビ管用フィブブロック-種水化学工業	KK 22-018号
8	種水化学工業-ALC・コンクリート(壁)	さや管用フィブブロック-種水化学工業	PS060WL-0587
9	種水化学工業-ALC・コンクリート(壁)	さや管用フィブブロック-種水化学工業	PS060WL-0622
10	種水化学工業-ALC・コンクリート(壁)	さや管用フィブブロック-種水化学工業	PS060WL-0066

Excelなどで追加、編集をして保存後、[CSV読み込み]でCSV形式ファイルから防火区画貫通の処理材を読み込みできます。



「追加」を選択すると、現在の内容に追加して読み込みます。既に同じ名称がある場合は読み込みません。
「差し替え」を選択すると、現在の内容を破棄して読み込みます。

防火区画貫通の設定

[区画貫通の自動処理]や[区画貫通の確認]は設定に基づいて配置、確認を行います。

[設定]-[一般]タブ-[建築]-[防火区画貫通]を選択します。

防火区画貫通の条件（区画の種類、躯体、壁や床の材質、種類、用途、材料、サイズ）、それに対する処理（処理材、貫通部の材料、貫通部の長さ、ダンパー、ダンパーの長さ）を設定できます。

設定は上にある行が優先されます。



●条件

区画の種類

防火・防煙区画の種類を選択します。

躯体

壁または床を選択します。

壁や床の材質、厚み

壁や床の材質を選択します。床は厚みも設定できます。

種類

ルートの種類を選択します。配管、冷媒、矩形ダクト、スパイラルダクト、円形ダクト、配管ダクト、ケーブルラック、ケーブルダクト、レースウェイ、バスダクト、ケーブル、電線管から選択できます。

用途

用途を選択します。「種類」が配管、冷媒、矩形ダクト、スパイラルダクト、円形ダクト、配管ダクトの時に設定できます。

材料、サイズ

ルート of 材料、サイズを選択します。「種類」が配管、冷媒の時に設定できます。

●処理

処理材

貫通部に配置する処理材を選択または入力します。プルダウンには[設定]-[一般]タブ-[建築]-[防火区画貫通の処理材]の内容が反映されます。

貫通部の材料

貫通部の材料を変更する場合に選択します。

「種類」が配管、冷媒の場合は配管材料の中から、矩形ダクト、スパイラルダクト、円形ダクト、配管ダクトの場合はt1.5以上が選択できます。

貫通部の長さ

貫通部の材料が設定されている場合に設定します。ルートと防火・防煙区画の交点から片側分の長さを指定します。

ダンパー

ダンパーを設定します。「種類」が矩形ダクト、スパイラルダクト、円形ダクト、配管ダクトの時に設定できます。

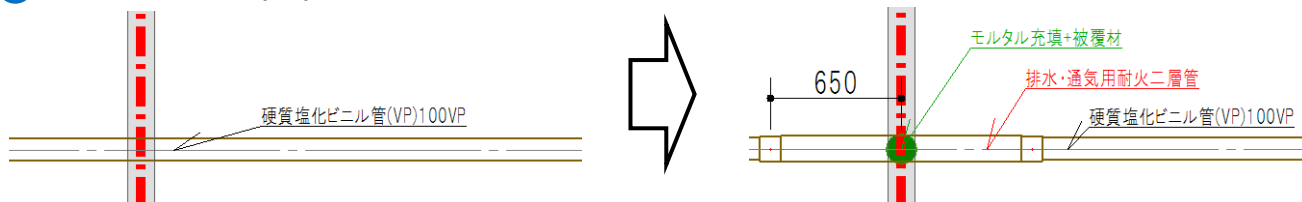
ダンパーの長さ

ダンパーが設定されている場合に、ダンパーの長さを設定します。

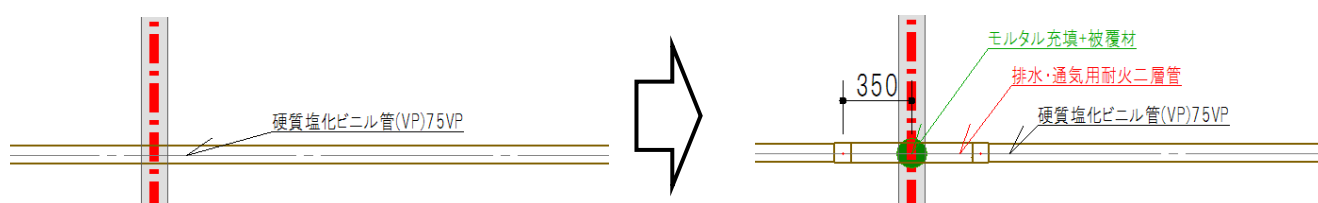
配管の自動挿入例：下記の条件で自動挿入した場合

建築 - 防火区画貫通												
区画の種類	躯体	種類	用途	材料	サイズ(以上)	処理材	貫通部の材料	貫通部の長さ	ダンパー	ダンパーの長さ		
すべて	1	壁	すべて	配管	すべて	硬質塩化ビニル管	100	モルタル充填+被覆材	FDP 排水・通気用耐火二層管	650		0
すべて	2	壁	すべて	配管	すべて	硬質塩化ビニル管	75	モルタル充填+被覆材	FDP 排水・通気用耐火二層管	350		0
すべて	3	壁	すべて	配管	すべて	耐火二層管	100	モルタル充填+被覆材		0		0
すべて	4	壁	すべて	配管	すべて	鋼管	100	モルタル充填		0		0

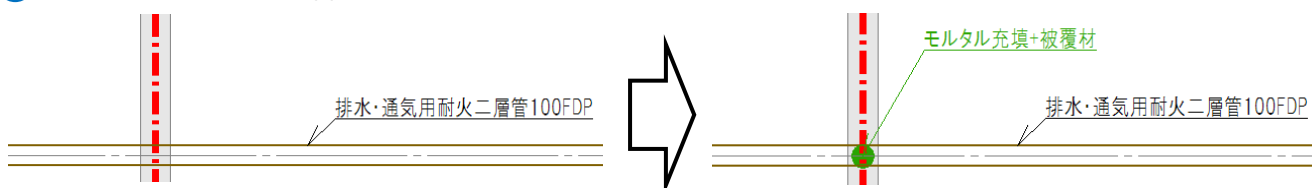
1 硬質塩化ビニル管(VP) サイズ100



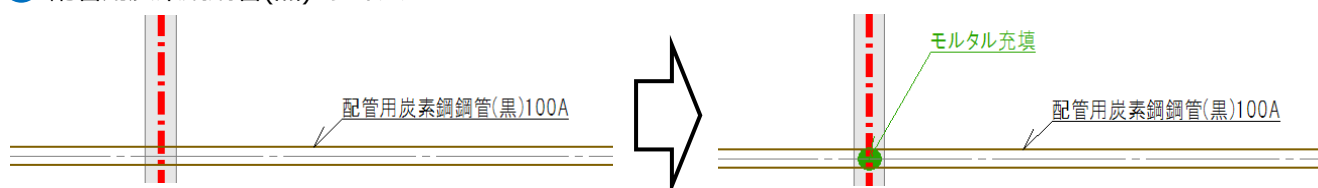
2 硬質塩化ビニル管(VP) サイズ75



3 排水・通気用耐火二層管 サイズ100



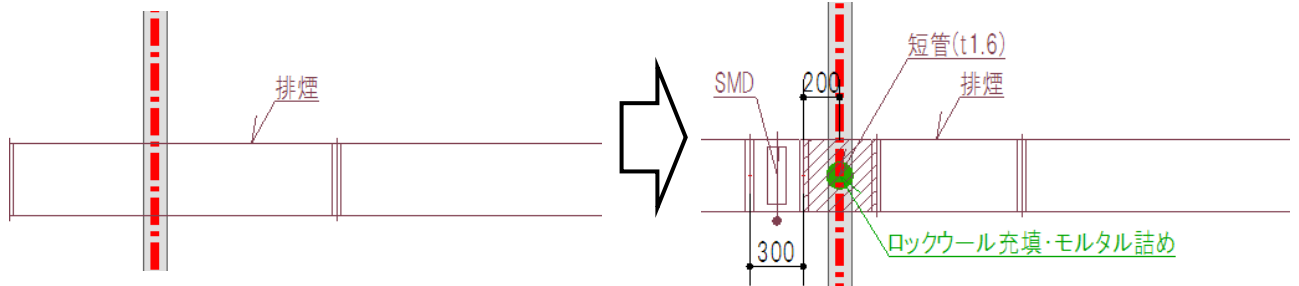
4 配管用炭素鋼鋼管(黒) サイズ100



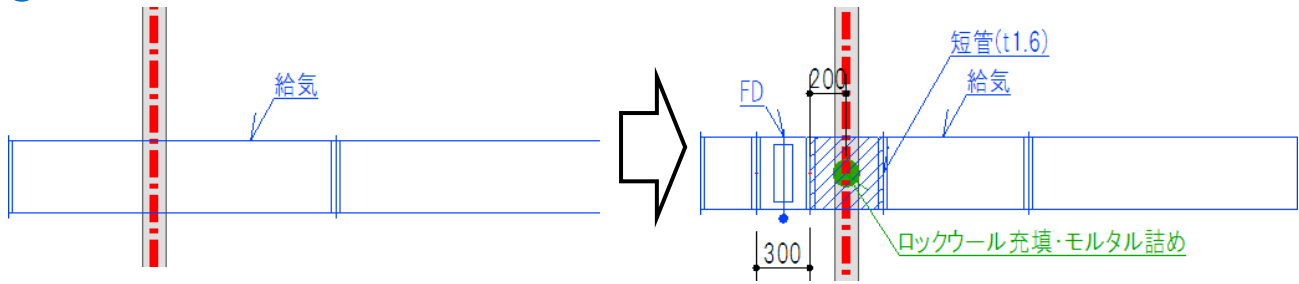
ダクトの自動挿入例：下記の条件で自動挿入した場合

建築 - 防火区画貫通										
区画の種類	躯体	種類	用途	材料	サイズ(以上)	処理材	貫通部の材料	貫通部の長さ	ダンパー	ダンパーの長さ
すべて	① 壁すべて	② 矩形ダクト	排煙	すべて	0	ロックウール充填・モルタル詰め	t1.5以上	200	SMD	300
すべて	③ 壁すべて	② 矩形ダクト	すべて	すべて	0	ロックウール充填・モルタル詰め	t1.5以上	200	FD	300
すべて	③ 壁すべて	② スパイラルダクト	排煙	すべて	0	ロックウール充填・モルタル詰め	t1.5以上	200	SMD	300
すべて	④ 壁すべて	② スパイラルダクト	すべて	すべて	0	ロックウール充填・モルタル詰め	t1.5以上	200	FD	300

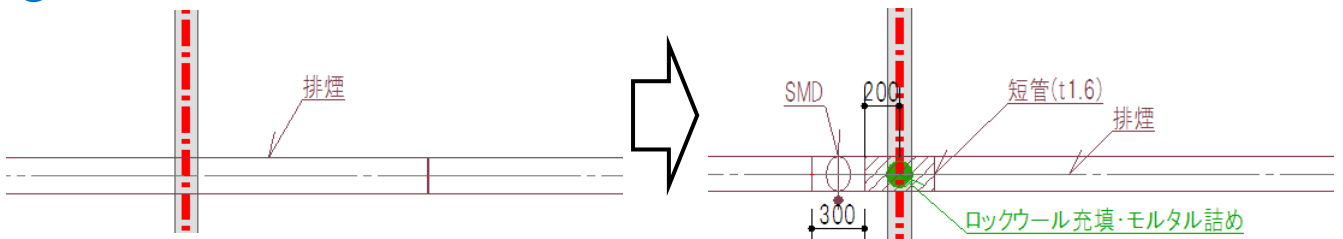
① 角ダクト(用途：排煙)



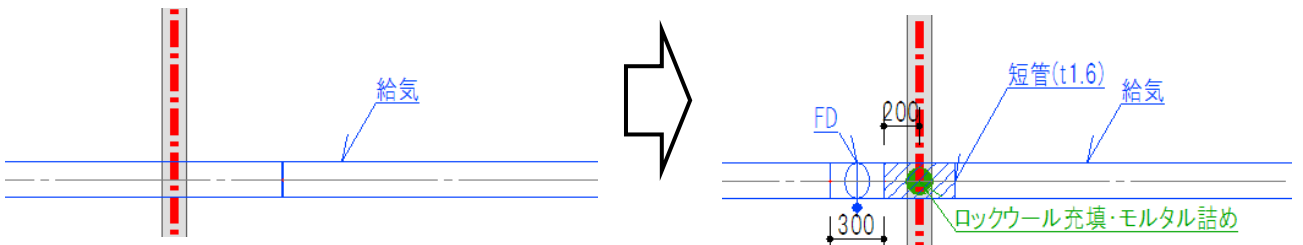
② 角ダクト(用途：給気)



③ スパイラルダクト(用途：排煙)



④ スパイラルダクト(用途：給気)

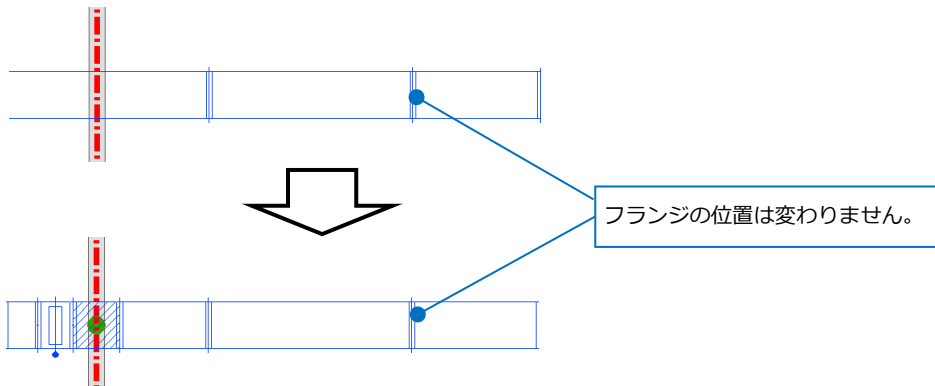


- 補足説明

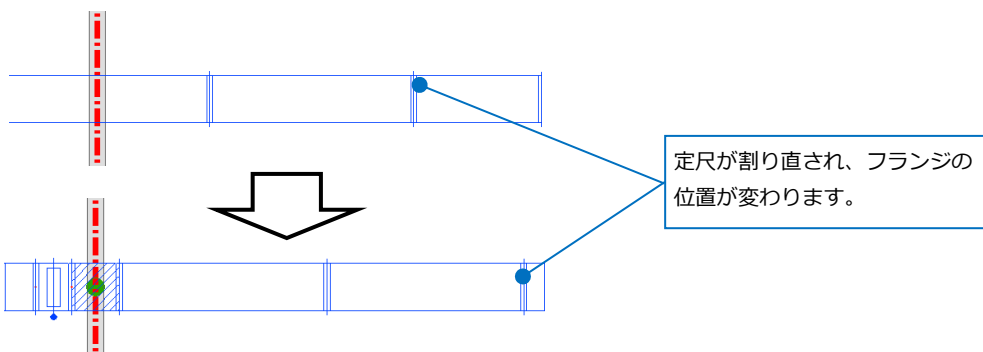
[区画貫通の自動処理]をしたときのダクトの定尺位置の設定はダクトの種類ごとに異なります。

- ・ 矩形ダクト、円形ダクト

ダンパーや短管を挿入してもフランジの位置を維持します。

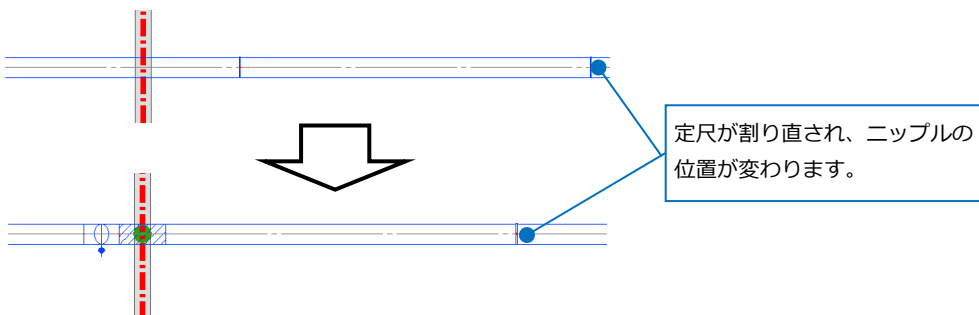


[表示]タブ-[図面表現]-[ダクト]-[作図規則]の[フランジの自動割り付けを行う]にチェックを入れると定尺で割り直し、フランジの位置が変わるようになります。



- ・ スパイラルダクト、配管ダクト

ダンパーや短管が挿入されると定尺で割り直されるため、ニップルやソケットなどの位置が変わります。



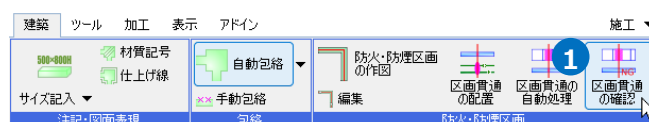
5. 防火区画貫通の確認

防火・防煙区画を貫通する配管、ダクト、電気のルートが[設定]-[一般]タブ-[建築]-[防火区画貫通]の設定どおりに作図されているかを確認します。(設定はp.22参照)

[検索]パネルに防火区画貫通部の確認結果を表示します。

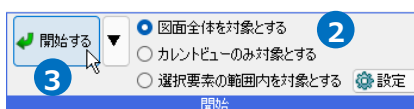
貫通部の確認

① [建築]タブ-[区画貫通の確認]をクリックします。



② 対象範囲を選択します。

ここでは「図面全体を対象とする」を選択します。



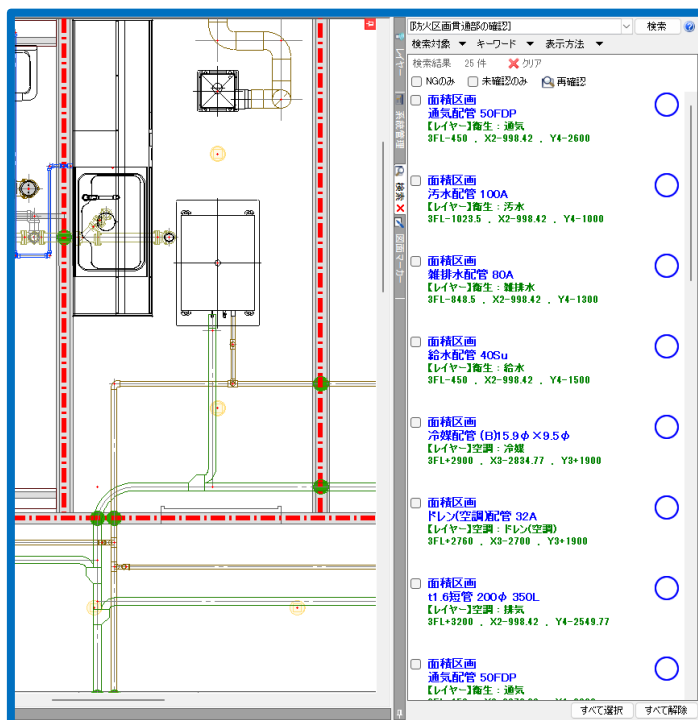
③ [開始する]をクリックします。

Memo

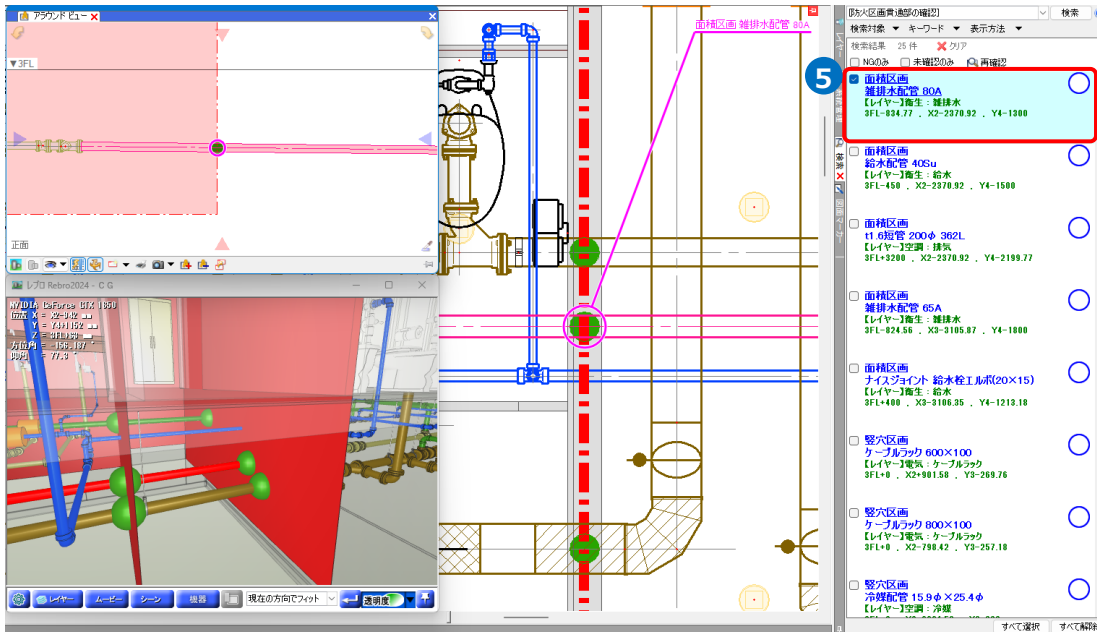
[開始する]横の[▼]をクリックし、[外部参照ファイルを含む]にチェックを入れると、外部参照を含めて確認することができます。

A screenshot of the '開始' dialog box, similar to the previous one, but with the checkbox '外部参照ファイルを含む' (Include external reference files) checked. This checkbox is highlighted with a red box. It has a red circle and the number '3' next to it.

④ [検索]パネルに貫通部の確認結果がリストアップされます。



- 5 結果をクリックすると、アラウンドビューやCGで貫通処理が適切に行われているかを確認することができます。



Memo

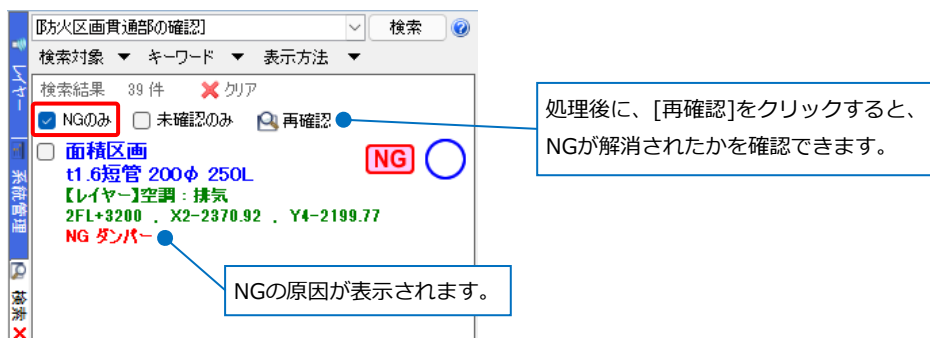
[検索]パネルの[表示方法]で、結果をクリックした際の表示方法を選択できます。

表示方法

- 画面の中心に移動する
- アラウンドビューを起動する
- CGを起動する

● 補足説明

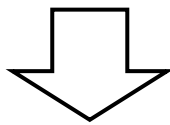
NGになっている箇所は貫通部の処理が必要です。[NGのみ]にチェックを入れると、NGの要素だけを表示することができます。



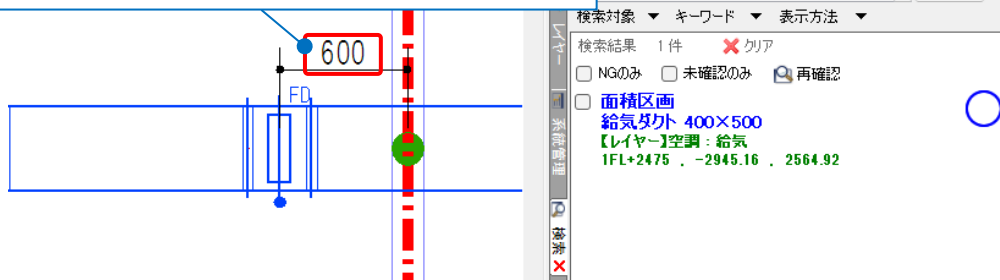
リストに表示されるNGの要因は常に1つです。複数の要因がある場合は、NG解消後に次の要因が表示されます。

● 補足説明

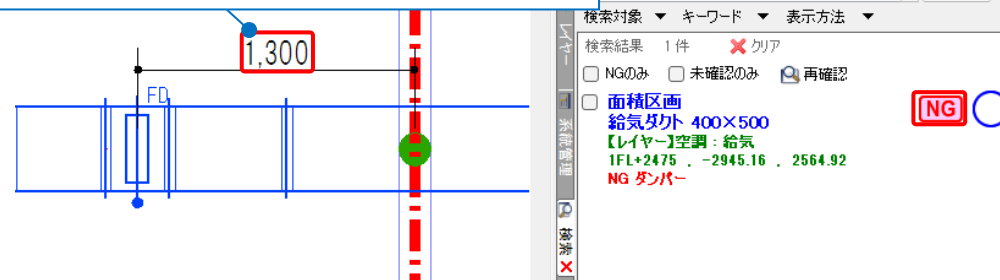
防火区画貫通の設定(p.22)で矩形ダクト、スパイラルダクト、円形ダクト、配管ダクトに対して「貫通部の材料」に「t1.5以上」を設定しなかった場合、[区画貫通の確認]では[詳細]で設定した「ダンパー位置の確認距離(中心位置)」の範囲内にダンパーがあるかを判定します。



「ダンパー位置の確認距離(中心位置)」の「1000mm」より短いため問題なしと判断されます。



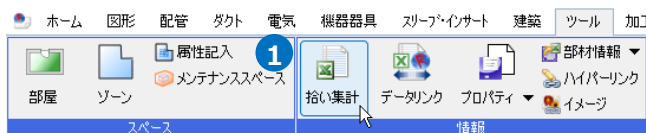
「ダンパー位置の確認距離(中心位置)」の「1000mm」より長いため、[検索]パネル内に「NG」と表示されます。



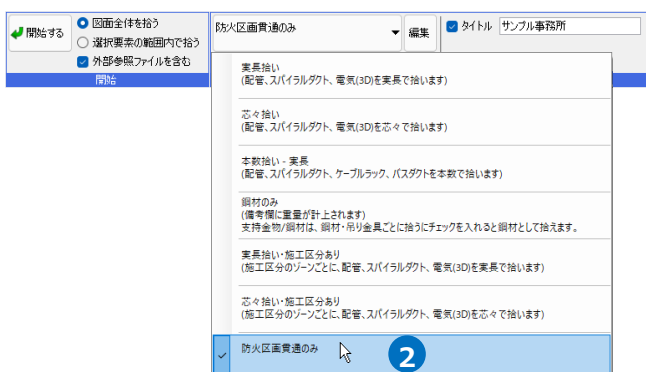
6. 拾い集計

防火区画貫通の処理材は拾い集計で計上することができます。([拾い集計]の詳細については、テクニカルガイド「[拾い集計](#)」をご参照ください。)

- ① [ツール]タブ-[拾い集計]をクリックします。



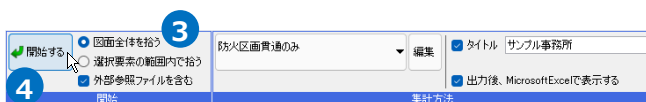
- ② 集計方法で[防火区画貫通のみ]を選択します。



- ③ 集計範囲を指定します

ここでは「図面全体を拾う」を選択します。

- ④ [開始する]をクリックします。



- ⑤ 図面上の防火区画貫通部材を集計できます。

拾い集計表

xxxx年xx月xx日

サンプル事務所

名称	規格	数量	単位	備考
防火区画貫通				
2FL				
防火区画貫通				
モルタル充填	箇所	1	ヶ所	⑤ 処理材ごとに拾い分けします。
ロックワール充填・モルタル詰め	箇所	2	ヶ所	
耐火キャップ	箇所	3	ヶ所	
3FL				
防火区画貫通				
モルタル充填	箇所	9	ヶ所	⑤ 処理材ごとに拾い分けします。
モルタル充填+被覆材	箇所	2	ヶ所	
ロックワール充填・モルタル詰め	箇所	4	ヶ所	
耐火キャップ	箇所	4	ヶ所	
防火措置材	箇所	2	ヶ所	
4FL				
防火区画貫通				
モルタル充填	箇所	5	ヶ所	⑤ 処理材ごとに拾い分けします。
モルタル充填+被覆材	箇所	2	ヶ所	

● 補足説明

認定番号を設定している防火区画貫通の処理材を使用すると、拾い集計で認定番号も出力できます。

拾い集計表

xxxx年xx月xx日

サンプル事務所

名称	規格	数量	単位	備考
防火区画貫通				
2FL				
防火区画貫通				
ロックウール充填・モルタル詰め	箇所	2	ヶ所	
塩ビ管用フィブロック-積水化学工業(PS060WL-0064)	箇所	1	ヶ所	
耐火キヤップNX-因幡電機産業(PS060FL-1043)	箇所	2	ヶ所	
耐火キヤップNX-因幡電機産業(PS060WL-0777)	箇所	1	ヶ所	